

参加チーム各位

日本マスターズ水泳短水路大会
一般社団法人 高知県水泳連盟

日本マスターズ水泳短水路大会高知会場開催のご案内

拝啓 花冷えの候、貴チームにおかれましては、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。
大会の詳細が決まりましたのでご案内致します。各チームより、参加選手一人一人にご連絡いただきま
すようお願いいたします。

敬具

【日 程】 平成28年4月24日(日)

【会場案内】 所在地：高知県高知市五台山1736-1

高知市東部総合運動場屋内競技場(くろしおアリーナ)

室 内：25m×9レーン公認(大会は6レーン使用)

※ 会場入口は、正面玄関となります。屋根付き駐車場側入口については、8:00
までは競技役員のみのものであり、8:00

【交 通】 JR「高知」駅より車で約15分、「高知IC」より車で約15分

土佐電鉄バス「はりまや橋」より「前浜行」・「パークタウン行」乗車、「東部球場前」下車

土佐電鉄空港連絡バス「高知空港」より約20分、「古川」下車後、徒歩約20分

【開 場】 8:00

【ウォーミングアップ】 8:30~9:45 アップコース: 8:30~競技終了まで

【競技開始】 10:00 【競技終了】 16:40

【リーダーミーティング】 8:30 【競技役員打合せ】 9:15

【公式スタート練習】 9:15~9:45

【進 行 予 定】 開会式・閉会式は行いません。世界記録・日本記録の表彰は行います。

| No | 競 技 種 目 | 予定時間 | No | 競 技 種 目 | 予定時間 |
|----|----------------|-------|----|---------------|-------|
| 1 | 女子4×25mメドレーリレー | 10:00 | 25 | 男子4×25mフリーリレー | 13:02 |
| 2 | 男子4×25mメドレーリレー | 10:02 | 26 | 混合4×25mフリーリレー | 13:05 |
| 3 | 混合4×25mメドレーリレー | 10:05 | 27 | 女子100m自由形 | 13:07 |
| 4 | 女子100m個人メドレー | 10:07 | 28 | 男子100m自由形 | 13:15 |
| 5 | 男子100m個人メドレー | 10:17 | 29 | 女子100mバタフライ | 13:23 |
| 6 | 女子25m自由形 | 10:26 | 30 | 男子100mバタフライ | 13:25 |
| 7 | 男子25m自由形 | 10:34 | 31 | 女子100m平泳ぎ | 13:30 |
| 8 | 女子25mバタフライ | 10:40 | 32 | 男子100m平泳ぎ | 13:34 |
| 9 | 男子25mバタフライ | 10:43 | 33 | 女子100m背泳ぎ | 13:37 |
| 10 | 女子25m平泳ぎ | 10:47 | 34 | 男子100m背泳ぎ | 13:40 |
| 11 | 男子25m平泳ぎ | 10:52 | 35 | 女子400m自由形 | 13:43 |
| 12 | 女子25m背泳ぎ | 10:56 | 36 | 男子400m自由形 | 14:01 |
| 13 | 男子25m背泳ぎ | 10:59 | 37 | 女子50m自由形 | 14:08 |
| 14 | 女子200m自由形 | 11:02 | 38 | 男子50m自由形 | 14:14 |
| 15 | 男子200m自由形 | 11:16 | 39 | 女子50mバタフライ | 14:20 |
| 16 | 女子200mバタフライ | 11:25 | 40 | 男子50mバタフライ | 14:23 |
| 17 | 男子200mバタフライ | 11:30 | 41 | 女子50m平泳ぎ | 14:27 |
| 18 | 女子200m平泳ぎ | 11:35 | 42 | 男子50m平泳ぎ | 14:30 |
| 19 | 男子200m平泳ぎ | 11:47 | 43 | 女子50m背泳ぎ | 14:34 |
| 20 | 女子200m背泳ぎ | 11:52 | 44 | 男子50m背泳ぎ | 14:36 |
| 21 | 男子200m背泳ぎ | 11:57 | 45 | 女子4×50mフリーリレー | 14:40 |
| 22 | 女子200m個人メドレー | 12:05 | 46 | 男子4×50mフリーリレー | 14:44 |
| 23 | 男子200m個人メドレー | 12:12 | 47 | 混合4×50mフリーリレー | 14:48 |
| 24 | 女子4×25mフリーリレー | 13:00 | 48 | 競技終了予定時間 | 14:50 |

※ 進行予定は、あくまで予定時刻であり、実際の進行状況に応じて変わります。必ず競技状況をご確認の

上、招集に遅れないようにしてください。選手控室では競技進行状況がわかりません。ご注意ください。

リレーオーダー変更 締め切り時間

- (No.1・2・3) 女子・男子・混合 4×25mメドレーリレー 8:30
- (No.24・25・26) 女子・男子・混合 4×25mフリーリレー 11:30
- (No.45・46・47) 女子・男子・混合 4×50mフリーリレー 12:30
- ※ 上記、リレーオーダー変更締め切り時間までにオーダー変更用紙を受付デスクへ

■（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則（抜粋）

- (1) 出発について（背泳ぎを除く）
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。（MSW4.1）
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。（MSW4.1）
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁につける。（MSW4.1）
- (2) 背泳ぎについて
 - a. 競技中は、泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、およびスタート後、折り返し後の壁から15m以内の距離では、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。（MSW6.4）
 - b. 折り返しの動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は折り返しを始めるために、速やかに一連の動作として、片腕あるいは同時の両腕のかきを使用することができる。（MSW6.5）
- (3) 平泳ぎについて
 - a. スタートおよび折り返し後の一かき目は、完全に脚のところまで持って行くことができる。その間泳者は水没状態であってもよい。スタート後、折り返し後に、最初の平泳ぎの蹴りの前にバタフライキックが1回許される。（MSW7.1）
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折り返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りにつながらず腕のかきだけになってもよい。（MSW7.6）
- (4) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。（MSW8.3）
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。（MSW8.4）
 - c. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回のキックと一かきが許される。スタートおよび折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに頭は水面上に出ていなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールタッチまで体は水面上に出ていなければならない。（MSW8.5）
- (5) 招集について
競技者は、競技会の主管団体が公表した招集の要領に従い、出場前に出場の確認または点呼を受けなければならない。また、公表された組・レーンで出場しなければならない。（MSW10.4）
- (6) 競技終了後の退水について
泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横

断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は失格となる。また、その他妨害行為をした場合も失格となる。(MSW10.9)

(7) リレー競技の第1泳者の記録について

4×25mのリレー競技を除き、リレーの第一泳者の記録は新記録に申請することができる。(MSW13.5)

(8) 水着の規定について

競技会で着用できる水着は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。(MSW15.1)

【競技上の注意】

1. 競技は、2016年(一社)日本マスターズ水泳協会競技規則に則り実施します。
2. 年齢は、暦年齢(2016年12月31日現在の満年齢)とします。
3. 競技は、男女別(混合リレーを除く)、年令区別のタイムレース決勝とします。
25m・50mの各種目は、エントリーに従い男女別・年齢区別に組み分けを行い高年齢から低年齢へ遅い組から速い組への順で行います。但し、競技進行上の理由により、一部複数の年齢区分で組み分けを行う組もあります。また、200m種目は、男女別・エントリータイム順に組み分けを行い、遅い組から速い組への順で行います。
4. エントリータイムは申込み時に申告されていますが、競技進行を速やかに行う上で明らかに申告タイムが違う場合(1分以上)は訂正用紙に記入の上、インフォメーションデスクへ提出してください。

5. 受 付

チーム受付は、各チームの代表者が行ってください。その際、「チーム受付票」を受付へ提出してください。プログラム(お申込者のみ)・公認記録証・参加章をまとめてお渡しします。昼食弁当を申し込まれたチームは弁当代金をお支払いください。

6. 招 集

- 1) 招集所は、プールターン側で行います。
- 2) 招集所へは、25m種目は自分の出場する種目・組の10レース前までに、その他の種目は6レース前までにお集まりください。
- 3) 招集所では「第〇組」と呼ばれます。自分の出場する組であれば招集員にIDカードを両面提示し、組・レーン・名前を自己申告し、招集受付を済ませ、指示に従い並んでください。競技の進行をご確認の上、招集遅れのないようにご注意ください。 ※ 最初の種目は競技開始 10 分前より招集を開始します。
- 4) IDカードの誓約書欄に署名がないものは招集を受ける事が出来ません。
- 5) 25m種目もIDカードが必要です。レース終了後IDカード返却デスクにて返却します。必ずIDカード返却デスクに立ち寄り、ご自分のIDカードを確認しお持ち帰りください。他の選手のIDカードと間違わないよう注意してください。自分の組とレーンは、忘れないように、また、間違わないように申告してください。
- 6) 25m種目に出場する選手はスタートサイドに荷物の置き場がありませんので、お持ち込みしないようお願いいたします。
- 7) リレー種目では、招集所で出場者4名揃わないと招集受付できません。4名揃ったら、泳ぐ順に各人が自己申告し、招集受付をしてください。
- 8) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。
※ 出場選手は『IDカード』をチーム責任者より必ずお受け取りください。
※ レース後『IDカード』を忘れないようお持ち帰りください。
※ お忘れの『IDカード』は各種目終了後、受付で保管します。

<よくある間違い>

自分の前の組で同じレーンの選手が棄権していた場合、招集又はレーンの後ろに並ぶ際、前につめてしまう方がいます。必ず泳ぐ前に同じ組で泳ぐ選手を確認しておくなど間違いがないようにご自身で確認してください。(特に25m・50mは間違える方が多いのでご注意ください)

7. リレー種目

リレーオーダーの変更は、所定の用紙に必要事項を全て記入の上、締め切り時間までにインフォメーションデスクへご提出ください。変更のない場合は、提出の必要はありません。

変更は1度のみとなります。エントリータイム及び年齢区分の変更はできません。

同一リレー種目には、年齢区分に関わらず一人1回しか出場できません。

- 1) リレーオーダー提出後の泳者および泳者の順序の変更は認めません。
- 2) オーダー変更の際、個人種目に出場している方以外のお出は出来ません。
- 3) 棄権する場合は棄権用紙に必要事項を記入の上、インフォメーションデスクへ提出してください。
- 4) リレーの第2泳者以降の泳者が水中からのスタートを希望される場合は、審判長の許可が必要の為、出場申告用紙に記載の上インフォメーションデスクへ申請してください。申請がなく水中からスタートした場合は、記録が公認にならない場合があります。

8. スタートについて

- 1) スタートは、25mを除きオーバー・ザ・トップ法式で行います。
- 2) スタート前の水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そのバケツで行ってください。
- 3) 前の組がスタートしたらスタート台の後ろに立ち、計時員にご自分の名前を伝えレーンを確認してください。組・レーンを間違えると失格となります。
- 4) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧めします。
- 5) リレーの第2泳者以降で水中からスタートを希望される方は必ず審判長への許可が必要です。許可なく水中からスタートした場合は、失格となる場合がありますので、予めご承知置きください。
尚、世界記録に挑戦するリレーチームはFINAのルールが適用される為、第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録は認められません。
- 6) 公式スタート練習は、9:15~9:45に行います。変更がある場合は当日通告より発表します。
- 7) スタートが初心者の方はコーチの指導の下にお願いします。安全面で問題があると判断した際は中止する場合があります。深く飛び込むことのないようお願いします。

9. 世界記録申請及び日本記録・世界記録該当者の水着着用について

世界記録の達成が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入の上、インフォメーションデスクに申告してください。国際水泳連盟（FINA）が認定している世界記録を突破した場合、その記録をFINAへ世界記録としての公認を申請します。申請の際、計時員3名の計測が必要なため、インフォメーションデスクへの申告をもとに計時員3名を配置します。必ず申告を忘れないようにしてください。また世界記録を達成された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピーまたは、住民票のコピー（3ヶ月以内のもの）」が必要となりますのでご準備ください。

世界記録のFINAへの申請にはFINA承認水着の着用が必要です。世界記録を出す可能性がある選手は、FINA承認マーク付き水着の着用をお願いします。競技終了後、水着着用の写真を撮影させていただきます。また、世界記録申請用紙ご記入の際、水着のメーカー及び承認番号を記載してください。日本記録についてもFINA承認水着の着用が必要です。レース前及びレース終了後FINA承認水着の確認をします。FINA承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められませんので予めご承知置きください。

※2016年4月よりリレー種目（4×25mを除く）の第1泳者の新記録の申請が可能になりました。世界記録に挑戦される選手は必ず申告を行ってください。

10. 水着等について

国内で行われる（一社）日本マスターズ水泳協会公式・公認競技会においての水着の規定は次のとおりです。

- 1) FINAの水着規定変更に合わせて、FINAへの世界新記録の申請、日本新記録の公認について

は有効なFINA公認マークが付いた水着を着用して泳いだ記録のみを対象とする。

- 2) 素材については、繊維を中心とした水着とする。ラバー及び大きなパネルが貼ってある水着は禁止とする。(大きなパネルとは、水着の半分以上を占める空気を通さない素材)
- 3) 水着は、1着しか着用することができない。(重ね着は禁止)ただし、水泳用インナーショーツ(サポーター)などのモディスティーツ(不適切な露出を避けることを目的とした水着)、女性用インナーパット(カップ)などの使用は認める。
- 4) ゴーグル、キャップ、鼻栓、耳栓の使用は可能である。(パワーバンド類は不可)
- 5) テーピング禁止。(テーピングを必要とする場合は事前に大会本部に申請し、許可を受けた場合に限る。)
- 6) 水着への2次加工禁止。
※水着改正についての詳細は、[\(一社\)日本マスターズ水泳協会ホームページをご覧ください。](#)

11. 異議申し立て

競技開始前に判明した異議は、そのレースの出発の合図の前までに、審判長に文章にして提出してください。競技の失格内容や状況等に異議がある時は、そのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記載し、抗議料5,000円を添えて受付デスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で検討し裁定します。なお、**抗議の申請は、チームの責任者に限られます。**(一般選手からの抗議の申請は出来ません。) 抗議内容が承認された場合は抗議料を返金いたしますが、抗議内容が却下された場合は抗議料を返金しません。

その他、違反内容の問い合わせについては、規定用紙に記入の上、受付デスクにお申し出ください。

12. 表彰

- 1) 出場選手全員に参加章および(一社)日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与します。
- 2) 個人種目、リレー種目とも各会場の男女別・種目別・年齢区分別の各上位3位までメダルを授与します。
- 3) ランキング発表後入賞者は、メダル引渡所にて各自メダルを受け取ってください。その際、IDカードを提示してください。
- 4) マスターズ日本記録を突破した選手を表彰し日本新記録樹立証を授与します。
- 5) マスターズ世界記録を突破した選手を表彰し世界記録突破証を授与します。
- 6) チーム代表者の方が、出場者のメダルを代わりに受け取ることはできません。

13. プールからの退水について

- 1) 他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意し、横から退水します。
- 2) 退水は、25m種目を除きレーンロープにつかまり水中で待機して、次の組がスタートしたら競技役員からの指示に従い、横へ移動(1~4レーンの泳者は1レーン横、5~7レーンの泳者は7レーン横)してください。競技役員からの指示があった場合は、その指示に従ってください。
- 3) 25m種目はゴールタッチ後、すぐに次の組がスタートします。タッチ板に触れることのないよう速やかに横へ移動し退水してください。

14. 健康管理

- 1) 大会中の健康管理は、本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。
- 2) 会場内でけがや体調不良になられた場合は、救護係にて応急処置のみ行います。救護係の判断により、病院での診断を勧められたり、救急車などで緊急病院に搬送された場合、その治療費は全て個人の負担となります。
- 3) 当日ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- 4) 大会中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

- 5) 事故予防標語「マスタース キーワード9」を選手へ徹底してください。
万が一に備え、保険証のコピーをご持参ください。

| マスタース水泳キーワード9 | |
|---------------|---------------------|
| マ | マイペース ゆうゆう大きな ストローク |
| ス | 進んで受けよう メディカルチェック |
| タ | タイムより 楽しい水泳 健康づくり |
| ー | (ア)頭を使って 泳ぎの工夫 |
| ズ | ずっと前の 若さと力 あてにせず |
| す | 睡眠 食欲 体調チェック |
| い | いつもの練習 あってこそ 楽しいレース |
| え | エイここで 退く勇気が大人の水泳 |
| い | いい笑顔 気力も充実 輝く高年 |

15. 貴重品の管理について

貴重品は、個人またはチームで管理してください。盗難等がございましたら一切責任は負えません。

16. チームリーダーミーティング

8：30～ 会議室にて行います。

競技上の注意事項など変更がある場合は、この折に連絡します。必ずチームの代表者1名が出席してください。(4月以降規則の改定となっております。)

17. 選手控席

選手の控え場所は、プール観覧席・プールサイド(本部席反対側)・ランニング走路となります。一人でも多くの方がご利用いただけるように、チーム・個人で譲り合ってください。

18. カメラ・ビデオ・携帯電話撮影許可について

撮影許可証は発行しません。

カメラ・ビデオ・携帯電話で撮影をしている不審者を見かけた場合は、大会本部へご連絡ください。フラッシュを使っての撮影は競技に支障が出るため、お控えください。
ターンサイドからの写真撮影は禁止です。

19. 会場内での撮影について

競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いいたします。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。

【申告が必要な場合について】

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は「出場申告用紙」にて出場種目開始予定時間1時間前までに受付デスクへ申告を行ってください。

1) 世界記録に挑戦する方

※ 世界記録に挑戦する方は、【9. 世界記録の申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について】を確認し、規定用紙を提出してください。「出場申告用紙」は不要です。

2) テープ等をされる方

※ 本来テープ等は認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は受付デスクにて使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。

- ※ 指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は申告を行っても許可できない場合がありますので注意してください。
- 3) 障がい認定を受けている方で競技規則違反になる可能性がある方
※ エントリー時に申告している方は、再度申告の必要はありません。
 - 4) 出場に介助が必要な方
※ 出場に介助が必要な方は、チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできませんが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ること不可）。ゴール後は役員の指示を優先し介助してください。
 - 5) リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム
※ 世界記録の挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。詳細は【7. リレー種目 4】を確認してください。

【IDカードについて】

- 1) 参加選手は、2次要項と一緒に届くIDカードを必ず受け取ってください。IDカードは、参加選手であることを証明する大切なものです。プールへの入場時、招集受付、メダルの受け取りの際など、大会期間中必要になりますので、首から下げるなど会場で見える位置に必ず携帯してください。
- 2) IDカードの以下の項目に、貼付・記入をお願いします。
 - ・顔写真（表面）：選手の顔が判別できる写真（3cm×4cm）を貼付してください。（強制ではありません）
 - ・誓約書（表面）：誓約項目を確認のうえ、必ず署名をしてください。
 - ・大会当日緊急時の連絡先（裏面）：参加選手のご家族に緊急の連絡を要する場合に連絡の取れる連絡先を記入してください。※ 顔写真については強制ではありませんが、IDカードの取り違いなどを未然に防ぐためにも写真の貼付をお勧めします。本人確認や忘れ物予防等競技運営では必要ですのでご協力をお願いします。
- 3) 「IDカード」の紛失および忘れた場合は再発行所にて再発行してください。再発行料500円が必要となります。

【施設上の注意】

- 1) 更衣室は必ずプール用をご利用ください。体育館用は利用しないようご注意ください。
- 2) 更衣室のロッカーは使用可能です。
- 3) プールサイドでの飲食・喫煙は禁止です。また、館内での喫煙は禁止です。ご遠慮ください。
- 4) 貴重品は各自又はチームで保管してください。盗難等がございましたら一切責任は負えません。
- 5) ごみは各チームで必ず持ち帰ってください。ごみ袋はご持参ください。
- 6) プールサイド内は土足禁止です。素足又は上履きをご利用ください。
- 7) プールサイド・更衣室以外での水着姿での利用は禁止となります。
- 8) 通路・ロビー・観覧席でのシート敷き、場所取りはできません。
注) 場所取りとは、荷物・テープ・シート・タオル等を置きスペースを確保すること。

【その他】

- 1) お申込みのランキングは後日チームへお送りします。
- 2) 「プログラム」1,000円 「2015年度50傑ランキング」3,000円で販売します。
- 3) 大会期間中は忘れ物のないように注意してください。
- 4) お申し込み時およびIDカードに記入の大会当日緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万が一の際に高知県水泳連盟で使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。
 - ・責任者が会場へ同行される場合：出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
 - ・責任者が会場へ同行されない場合：大会当日、緊急時の連絡先について確認の連絡をした際に伝えられるよう準備してください。

※ 緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。

- 4) 大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物等の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
- 5) 大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は、「参加章」「プログラム（申込み分）」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。
- 7) 同封のリレーオーダー変更用紙・棄権申し出用紙等はコピーして利用ください。
- 8) 当日の棄権者はチームでまとめて棄権申し出用紙に記入の上、受付デスクに提出してください。

【個人情報の取り扱いについて】

本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては、以下のとおりです。

① 個人情報

- ・ プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
- ・ 競技結果としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。

② 肖像

- ・ 大会報告としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に使用します。
- ・ 以降マスターズ水泳の普及活動のために使用します。
- ・ 大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属します。